

はぐるまのめざす方向

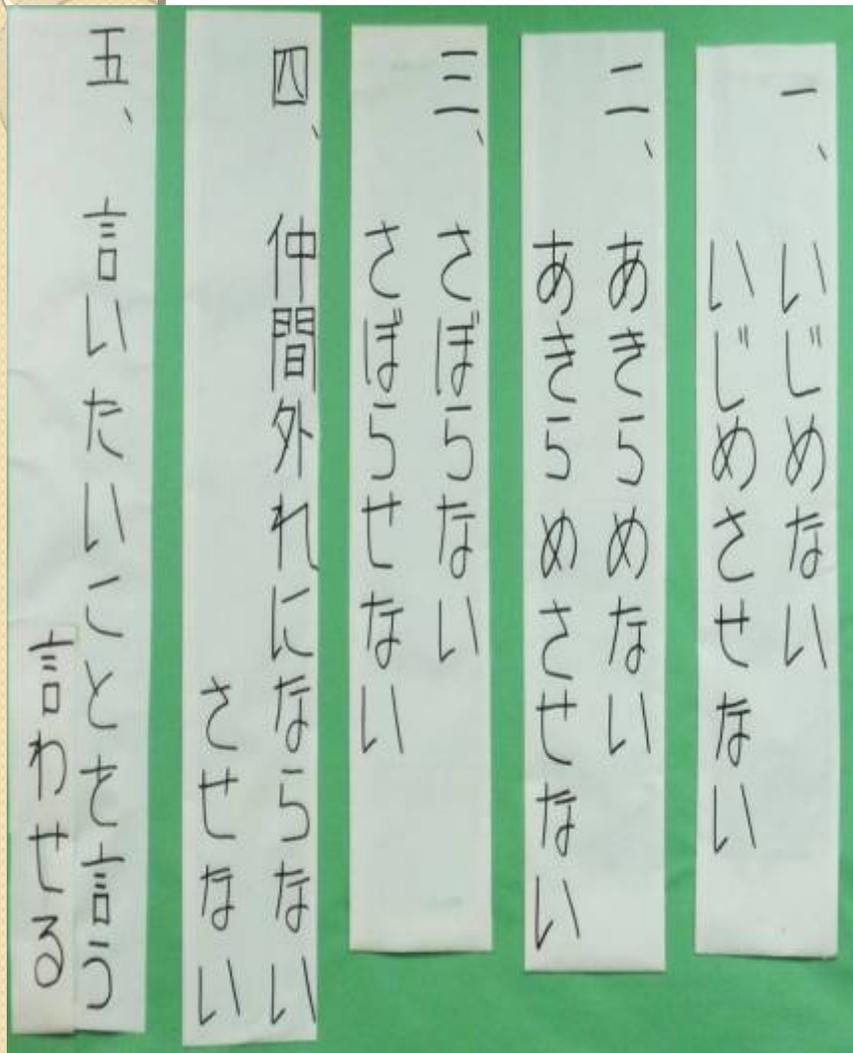
● はぐるまの会の仲間たちは、

「自分たちでやれることは、自分たちでどんどんやっていく。やれないことでも、みんなで力を合わせて、できるようにしていく」

ことを目標としています。

※そのための「5つの仲間目標」と「5つの活動」を大切にして実践を積み重ねてきました。

5つの仲間目標



5つの活動

生活のリズム

- ・ 早寝早起き 定時出勤 運動
手伝いの生活リズムの確立

運動

- ・ 脈拍130前後の運動を、毎日
30分以上継続する。(マラソ
ン)

労働

- ・ 自分たちで計画し、役割分担と目
標
を決め、相互の連帯を工夫し、集
団
労働に習熟することに努める

文化活動

- ・ 仲間の要求に基づいて、遊び、旅
行
広く地域に移動する力と、見分を
広

げる

地域活動

- ・ 販売などを通じて、地域との交流

マラソン大会のようす



朝の会の後は、毎日マラソンをします
これは元気に働き続けるための身体
づくりを目的としています
毎日、3km～10kmをそれぞれの体力
に合わせて走ったり、
ウォーキングをしています

ハケ岳登山のようす



登山では、体力と共に仲間同士
の連帯や強い精神力を養います
はぐるまの仲間たちの登山合宿
は夏の恒例行事となっています

はぐるま工房に農作業が必要となった理由

園芸療法としての

取り組みからスタートした農作業だった
(障害の重い方の為の場)

※ 土とふれあうことで主に情緒の安定
をねらっていた



今では、農作業が労働の場として無くてはならないものへ変化してきた

園芸療法 ⇒ 経済的な労働へ発展

経済的な労働 ⇒ 地域での役割の獲得へ

